

懇話会

ふくしまの歴史・文化遺産

2015

【報告者】

文書資料：阿菊部
考古学：懸地田
民俗：黒沢間
自然史（植物）：本間
自民司

一朗訓秀
浩芳弘高宏

日時：2015年1月25日(日)

13:00 ~ 16:30

会場：福島県文化センター2階会議室
※入場無料、事前申し込み不要

主催：ふくしま歴史資料保存ネットワーク事務局

共催：公益財団法人福島県文化振興財団

後援：福島県教育委員会 福島県史学会

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

福島民報社福島民友新聞社

開催趣旨

2011年3月11日の東日本大震災による被災と原発事故以後、福島県では県・自治体・大学・文化財関係諸機関等による歴史・文化遺産の保全にとりくむ活動が、国や県外の専門機関・各種団体等の支援を得て��けてきました。2010年11月に発足したふくしま歴史資料保存ネットワーク（略称：ふくしま史料ネット）も、文化財の保護・教育を担う機関と有志ボランティアの連携体として、歴史資料の救出活動を中心に活動を続けてきました。

ふくしま史料ネットの発足目的は、地域の歴史と風土を伝える資料を護り、後世に伝えたいと願う有志が集い、助け合う場をつくるところにありました。それは、文化財の専門家だけのものではなく、自治体関係者、地元で活動する郷土史家、歴史や文化に関心をもつ学生をはじめ、広く一般市民に基盤をおいたネットワークづくりをめざすものでした。その目標に到達せぬまま東日本大震災を迎ってしまいましたが、まもなく震災後4年を迎えるにあたり、その原点に立ち返るべく、懇話会を開催することといたしました。

この懇話会では、被災地の歴史・文化遺産の保護にとりくむさまざまな分野の方々のお話を聞きし、その現状と課題、悩み、希望などを参加者全員で共有したいと思います。今回は文献、考古、民俗、自然史の分野からの報告を用意しましたが、今後は美術、建築物、地名などできるだけ幅広い分野からの報告をいただき、あわせて自治体、図書館、博物館、美術館などの諸機関や、地元で活動される郷土史研究会、町内会などの連携ならびに情報共有なども模索していきたいと考えています。

懇話会は、どなたでもご参加いただけます。歴史・文化遺産の保全と継承を欠いたままの復興は、眞の復興とは呼べません。ふくしま再生を願う多くの皆様のご来場をお待ちしています。

2014年12月

ふくしま歴史資料保存ネットワーク
代表 阿部 浩一
(福島大学行政政策学類)



お問い合わせ

ふくしま史料ネット事務局まで
メールにてお願ひいたします。
shiryo-net@ipc.fukushima-u.ac.jp

【会場まで】

福島駅東口より市内循環バス（1・2コース）で
「桜の聖母短期大学」停留所下車、徒歩5分
※駐車場がございますが、できるだけ公共交通機
関をご利用ください。

福島県文化センター

福島県福島市春日町5-54 TEL 024-534-9191